

平成22年2月 から新しく 市民病院が変わります

池友会の経営方針

医療法人財団池友会より、公開説明会で提案された主な内容です。

新武雄病院（仮称）の理念

手には技術、頭には知識、
患者様には愛を

基本方針

24時間365日、地域の救急医療・高度医療を担います

患者様の権利を尊重します
病病・病診連携を推進します
心ある医療を目指します

2次医療圏村蔭地域及び武雄市の基幹病院・市民病院を目指します

武雄市民病院移譲計画

平成20年8月

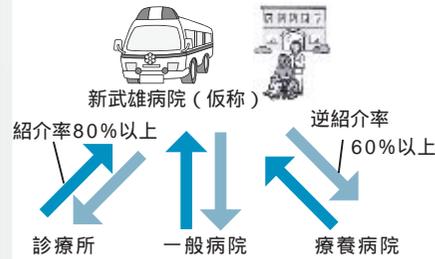
決定後、当グループよりできるだけ早く必要な医師（7～8名）、医療技術部、看護部、事務部10数名を派遣し、救急車及び時間外救急患者の受け入れを開始

平成21年度 新武雄病院（仮称）着工予定

平成22年2月 移譲

平成22年度 新武雄病院（仮称）オープン予定

地域医療支援病院を目指して



新武雄病院（仮称）予想図

診療体制について

病床の種類と病床数

135床全て一般病床とし、看護基準は7対1を出来る限り早急に取得します。

診療科目

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、リウマチ科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、肛門科、リハビリテーション科、放射線科、脊髄脊椎外科等

診療日、診療時間

月曜～土曜 9時～12時、14時～18時

ただし急患につきましては直ちに診療します。

救急医療の対応

24時間、365日救急車搬入を受け入れます。

夜間・休日は、内科、外科医系各1名以上とし、放射線技師、臨床検査技師、薬剤師も各1名配置します。将来的には、地域救急救命センターを目指します。

地域医療の連携推進

新武雄病院（仮称）は、地域住民、行政、医師会、大学病院と協力し地域住民のためにベストの医療を目指します。



病病・病診連携の推進
訪問診療・看護の推進
看取り医療の推進



〔移譲先の決定〕
この移譲先選考委員会からの答申を受けて、7月16日に開催された市議会臨時会で市民病院を医療法人池友会へ移譲するための関連議案が可決されました。これにより、平成22年2月1日から市民病院を医療法人財団池友会に移譲することを決定しました。

〔移譲までの市民病院〕
武雄市民病院の民間への移譲は、平成22年2月の予定で、平成22年1月までは、これまでと同様に市が直営で運営します。移譲先公募にあたっては、医師の前倒し派遣も応募条件としており、池友会からは、7月中に2名、8月半ばまでに5名の医師の派遣を受けます。

医師の前倒し派遣に伴い8月中旬には救急医療を再開する計画です。今後、武雄村島地区医師会との連携強化に全力を傾け、救急医療の早期再開など市民の皆様が安心してご利用いただける市民病院としての機能を回復させ、市民医療福祉の充実を目指していきます。

〔医療法人財団池友会〕
移譲先の医療法人財団池友会の概要、経営方針の提案を〇〇紹介します。

医療法人財団池友会の概要

代表者	医療法人財団池友会 理事長 鶴崎直邦
所在地	福岡県北九州市門司区
医療機関（病院）	新小文字病院（229床） 新行橋病院（246床） 福岡新水巻病院（212床） 福岡和白病院（317床） 香椎丘リハビリテーション病院（120床）
主な診療科目	総合診療科、内科、神経内科、呼吸器内科、小児科、循環器科、外科、整形外科、リウマチ関節症センター、精髄脊椎外科、脳神経外科、リハビリテーション科、眼科、歯科口腔外科など
関連施設	福岡和白PET画像診断クリニック

地域説明会

地域団体や各区などの団体の方々を対象に、移譲までの市民病院及び移譲後の病院体制など、市民の皆様のもとに outgoing 説明いたします。

私たちの病院だからこそ、今、共に考え内容を分かりやすく説明し、またご意見を頂き、市民の皆様とより良い病院を築いていきたいと考えています。

詳しくはお尋ねください。

問 企画部 企画課

☎ (23) 9325



医療法人財団池友会からのメッセージ

武雄市民病院の民間移譲が医療法人財団池友会に決定し、その重責に身の引き締まる思いであります。全力を挙げて武雄市民病院が果たしてきた地域医療の役割を引き継ぐと共に、救急医療や高度医療の面においても発展させていきたいと考えております。

第1段階として、経営移譲の平成22年1月までは、現武雄市民病院の運営に池友会挙げて協力する所存であり、医師や医療技術部、事務部を含め10数名を、派遣する予定であります。経営移譲後は、新武雄病院（仮称）の移転新築を出来るだけ早く行いたいと考えております。もちろん、地域の病院・診療所との協力や、地域住民の皆様方のご理解を頂く努力を全力で行う所存であります。

医療法人財団池友会

理事長 鶴崎 直邦

